

令和元年度 スポーツ分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査票Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 (2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、
 中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業
 (3) 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業
 ※それ以外の事業は「令和元年度 スポーツ分野事業調査結果B」に掲載されています。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
 - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「目的」
 - ・事業で達成すべき目的
- 「内容」
 - ・事業の内容
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」※アンケート未実施の場合、「一」が記載されています。
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「実績(内容)」
 - ・30年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業の目的に対して、事業で得られた成果
- 「課題と改善点」
 - ・事業の目的に対して、不十分だった点や改善すべき点
- 「今後の方向性」
 - ・今後の事業の方向性
- 「担当課」・「担当係」
 - ・事業を担当する課・係

スポーツ		(所管課)
【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充		
1	初心者向けスポーツ教室	スポーツ振興課
2	小・中学生向けスポーツ教室	スポーツ振興課
3	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
4	体育の日事業	スポーツ振興課
5	東京2020大会 カウントダウンプログラム	スポーツ振興課
6	オリンピック・パラリンピック子ども新聞	スポーツ振興課
7	文京スポーツセンターリニューアルイベント	スポーツ振興課
8	JETプログラムを活用したCIRの導入	スポーツ振興課
9	ドイツ料理の日～ホストタウン給食キャラバン～	スポーツ振興課
10	BUNKYO2020「文の京めぐり」	スポーツ振興課
11	いだてんウォーキング	スポーツ振興課
12	大河ドラマ「いだてん」トークツアーin東京都文京区	スポーツ振興課
13	スポーツ・パブリックビューイング	スポーツ振興課
14	読売巨人軍との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
15	文京LBレディース支援事業	スポーツ振興課
16	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	スポーツ振興課
17	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	スポーツ振興課
【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進		
1	地域スポーツ団体の支援・育成	スポーツ振興課
2	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	スポーツ振興課
3	各種区民スポーツ大会等の開催	スポーツ振興課
4	文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツ振興課
5	オリンピック・パラリンピック気運醸成補助金	スポーツ振興課
6	アウトドアスポーツ事業	スポーツ振興課
7	ジュニア・アスリート育成事業	スポーツ振興課
8	シニア向けスポーツ教室	スポーツ振興課
9	着衣泳講習会	スポーツ振興課
10	スポーツ指導者地域派遣	スポーツ振興課
11	スポ・レクひろば	スポーツ振興課
12	障害者のスポーツ施設利用促進事業	スポーツ振興課
13	障害者スポーツ体験教室	スポーツ振興課
14	障害者スポーツ指導員資格取得の支援	スポーツ振興課

【分野別目標1】 スポーツを身近に感じる機会の拡充

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
						予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数								申込数	申込率
1	28		初心者向けスポーツ教室	未経験のスポーツについて知り、体験する機会を提供する。	区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催する。	予算	—	当初予定数(定員等)	85人	—	—	アーチェリー:6月及び7月、全6回実施(総合体育館) 合気道:10月及び11月、全6回実施(総合体育館) 弓道:9月、全6回実施(スポーツセンター)	初心者でも気軽に体験できる機会を作ることができた。	弓道については応募人数が多く、2倍を超える倍率となっている。	現状維持		スポーツ振興課	施設等担当
						決算	—	実績数	69人	81.2%								
								申込数	116人	136.5%								
2	28		小・中学生向けスポーツ教室	子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため。	スキー、ローラースポーツ等のスポーツ教室を開催する。	予算	185	当初予定数(定員等)	140人	—	—	・ジュニアスキー教室 日程:12月15日(土)実施(狭山スキー教室) 定員:40人 参加人数:42人 応募数:212人 ・ジュニアローラースポーツ教室 日程:3月26日(火)、27日(水)実施 (東京ドームスケートアリーナ)定員:各日50人(100人) 参加人数:99人 応募数:299人	普段あまり接することができないスポーツを体験する機会を作ることができた。	両教室とも応募数が高く、抽選倍率が高い。	現状維持		スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	185	実績数	141人	100.7%								
								申込数	511人	365.0%								
3	28		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため。	親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	290	当初予定数(定員等)	152人	—	—	・親子はげ釣り教室:7月21日(土)実施(旧中川河川敷) 定員:80人 参加数:78人 応募数:262人 ・親子ボウリング教室 日程:9月1日、8日、15日(土)全3回実施(東京ドームボウリングセンター)定員:12組24人(3日実施) 参加数:66人 応募数:140人	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができる機会を創出することができた。また、多くの子どもたちが2種目に対し興味、関心を持った。	両教室とも応募数が高く、抽選倍率が高い。	現状維持		スポーツ振興課	施設等担当
						決算	215	実績数	144人	94.7%								
								申込数	402人	264.5%								
4	28		体育の日事業	スポーツの楽しさを知ること、区民の健康増進に寄与する。	子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図るきっかけをつくるため、体育の日事業を開催する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	元オリンピック選手や東京ユナイテッドの選手を講師に招きイベントを開催したほか、各スポーツ施設を無料開放した。	平成30年度は、4,190人が来場した。	雨天の場合は特に屋外施設の来場者数が伸び悩む。	現状維持		スポーツ振興課	施設等担当
						決算	—	実績数	4,190人	—								
								申込数	4,190人	—								
5	ス03-02	東京2020大会 気運醸成イベント	東京2020大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、シンポジウムや講演会、区民が参加できる体験イベントや企画展などを開催し、大会への気運醸成及び競技等への理解促進を図る。	予算	13,550	当初予定数(定員等)	—	—	—	・7月22日～23日に、オリンピック開催2年前記念イベントを開催し、「サーフィン」の紹介と、パラリンピック競技体験を行った。 ・8月24日～25日にパラリンピック2年前を記念し、ダイバーシティをテーマにした体感スペースの提供した。 ・9月20日～25日にパラリンピック700日前を記念した記念コンサートと、ラグビーワールドカップ2019日本大会開催1年前記念イベントを開催し、日本で生まれたポーカロイドミュージックを紹介した。 ・10月27日～11月2日に嘉納治五郎の生誕を記念し、区内競技団体の活動紹介パネル展示や、柔道に関する講演会等を行った他、庁内イベントでのオリンピック・パラリンピックブース等計14件の事業を開催した。	オリンピック777日前や、オリンピック・パラリンピック2年前に合わせて「BUNKYO2020カウントダウン」を開催。また、気運醸成イベントとして区内競技団体等と連携し、講演会や企画展を実施することで大会への気運醸成に繋げることができた。	大会終了後のレガシーに繋げるため、引き続き区民が主体的に関わることができるような取り組みを行う必要がある。	現状維持		スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当	
					決算	10,499	実績数	4,478人	—									
							申込数	—	—									
6	ス03-02	オリンピック・パラリンピック子ども新聞	オリンピック・パラリンピックへ興味を持ってもらうことや、東京2020大会への気運醸成を図る。	オリンピック・パラリンピックを多角的に捉え、選手や競技紹介、大会開催に関わる人々や仕事、国際大会が及ぼす影響など、様々な視点から子どもたちが感じ学んだことを紙面を通じて伝える。	予算	7,402	当初予定数(定員等)	—	—	—	・子ども記者及び編集サポーター登録数100名 ・年間3回、各号100,000部を発行した。 第4号(9月1日)/オリンピック・パラリンピックについて学ぶ(パナソニックセンター)、リコーブラックラムズ選手取材、ウィルチェアラグビー選手取材、伝統芸能「薪能」等 第5号(1月23日)/嘉納治五郎生誕祭イベント、ラグビーワールドカップ1年前記念イベント、スポーツとポーカロイド(パラリンピック700日前イベント)、ドイツフェスティバル等 第6号(3月31日)/金栗四三青春の地・文京区プロジェクト発表会取材、オリンピック・パラリンピック子ども新聞子ども記者研修について、ドイツホストタウン情報等	オリンピック・パラリンピックの、スポーツとしての側面だけでなく、経済や文化等との様々な関わりについて、子どもたちの言葉を通じて発信することにより、保護者や区民から共感を得ることができた。	取材できる人数や、日程が限られているため、子ども記者全員に機会を与えることが難しい。記者の記事作成をサポートできる編集サポーターが不足している。	現状維持		スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当	
					決算	6,109	実績数	100人	—									
							申込数	—	—									

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
						予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数								実績数	実績数
7			文京スポーツセンター リニューアルイベント	文京スポーツセンターの リニューアルオープンに 合わせ、改修されたセン ター内各施設を周知す る。また、2020年に東京 で開催されるオリンピッ ク・パラリンピックへの 気運醸成を図る。	文京スポーツセンターを 中心に各種競技体験の 実施やホストタウンであ るドイツの食や文化の紹 介を行う。	予算	25,516	当初予定数 (定員等)	—	—	—	【日時】2018年6月30日(土)10時00分～17時00分 【実施会場】文京スポーツセンター及び教育の森公園自由広場 (東京都文京区大塚3-29-2) 【内容】オリンピック・パラリンピック競技の体験、ドイツのホスト タウン事業の紹介、シンポジウム、ステージパフォーマンス等	リニューアルされた文京スポーツセンターの紹 介とスポーツを楽しむ機会の提供が区民に広 くできた。また、東京2020に向けたホストタ ウン事業の周知だけでなく、他ドイツホストタ ウン自治体との連携が強化された。	各関係団体との協力体制を継続するととも に、ホストタウンであるドイツについても、引き 続き様々な事業を通して発信する必要がある。	終了	文京スポーツセンターは東京 2020大会の練習会場としても利 用されるため、区のスポーツの 発信地として、一層区民に誇り と愛着をもってもらえるような働 きかけや事業を行う。	スポーツ振 興課	オリンピッ ク・パラリ ンピック担当
						決算	25,380	実績数	8,400人	—								
								申込数	—	—								
8			JETプログラムを活用 したCIRの導入	区のドイツホストタウン の取り組みを進め、区民 や職員に身近な国際交 流の機会を創出し、東京 2020大会を契機とした 国際社会の実現の一助 とする。	総務省・外務省・文部科 学省が主催するJETプロ グラムのうち、国際交流 員(CIR)を導入し、現地と のハイブ役とする。	予算	4,374	当初予定数 (定員等)	—	—	—	ドイツ料理の日に合わせ配布する「ドイツホストタウン通信」の編 集・作成、カイザーラウテルン市訪問団来日時時の通訳、ドイツ 語を含んだ競技紹介ツールの多言語冊子の編集等を行った。	CIRを中心としたホストタウン事業の推進によ り、区民の身近な国際交流の機会の創出に繋 がった。また、ドイツ関係団体とのハイブ役とし て、様々な国際交流事業を進めることができ た。	ホストタウン事業の推進だけでなく、区の国際 交流活動の推進に繋がるようなCIRの活用を 行うことが課題である。	現状 維持	スポーツ振 興課	オリンピッ ク・パラリ ンピック担当	
						決算	3,345	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
9			ドイツ料理の日～ホス タウン給食キャラバ ン～	子どもたちが食を通じて ドイツの文化に触れるこ とで、ドイツへの理解を 深める。	学校給食に「ドイツ料理 の日」を設け、食を通じ て文化を体験する機会 を提供する。	予算	633	当初予定数 (定員等)	3回	—	—	学校給食でのドイツ料理の提供を学期に1回、年3回実施した。 区立小・中学校の給食には、ドイツホストタウン通信を作成し、ラ ンチョンマットとして配布した。ホストタウン通信ではカイザーラ ウテルン市やドイツの文化・習慣・行事についての紹介を行っ た。	ドイツ人CIRが「ドイツ料理の日」に合わせて 学校を訪問し、子どもたちと交流を図ること で、食や文化に触れるだけでなく、ドイツを身 近に感じることができた。	献立作成については、食育の観点も踏まえつ つ、学務課と調整を行う必要がある。	現状 維持	スポーツ振 興課	オリンピッ ク・パラリ ンピック担当	
						決算	489	実績数	3回	100.0%								
								申込数	—	—								
10			BUNKYO2020「文の京め ぐり」	東京2020大会への気運 醸成及びアカデミー推進 部事業や区内施設等の 周知普及。	オリンピック・パラリン ピックに関する資料や区 のアカデミー推進部事 業の紹介、大会へのカ ウントダウンや大会関連 行事が記載された手帳 を作成する。	予算	2,404	当初予定数 (定員等)	—	—	—	B6サイズの手帳に以下の内容を盛り込み、オリンピック・パラリン ピック関連事業で広く区民に配布した。 ・オリンピック・パラリンピック関連行事の記載 ・大会までのカウントダウン記載 ・オリンピック競技の紹介 ・オリンピック選手の紹介 ・区内のスポーツ・文化関連資料館等の紹介 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会スポンサーの取 組紹介	手帳という身近なツールによって、大会関連 行事や文京区の文化資源を広く周知すること ができただけでなく、東京2020大会をより身近 に感じてもらうことができた。	手帳としての利便性にも配慮し、長く使用して もらえるような仕様にしている。	現状 維持	スポーツ振 興課	オリンピッ ク・パラリ ンピック担当	
						決算	2,385	実績数	2,000部	—								
								申込数	—	—								
11			いだてんウォーキング	文京区とゆかりのある金 栗四三を区民に広く周 知し、東京2020大会の 気運醸成を図ること。	金栗四三ゆかりのある スポットを巡るウォーキ ングイベントを実施。	予算	304	当初予定数 (定員等)	200人	—	—	スポーツ推進委員のウォーキング指導のもと、金栗四三の学生 時代の寄宿舎(御茶ノ水寄宿舎)から、東京高等師範学校(現・ 筑波大学)までのゆかりのスポットをスタンプラリーで巡った。 【コース】 教育の森公園→筑波大学(占春園)→播磨坂→伝通院→文京シ ンピックセンター(企画展開催)→講道館→文京ふるさと歴史館→ 湯島天満宮→湯島聖堂→お茶の水公園	文京区と金栗四三とのゆかりについて、あら ためて認識し、理解を深めるとともに、東京 2020大会に向けた気運醸成を図ることができ た。	申込者数が定員に満たず、また、当日の天候 の影響もあり、参加人数がやや低調であっ た。	終了	スポーツ振 興課	スポーツ振 興係	
						決算	270	実績数	61人	30.5%								
								申込数	96人	48.0%								
12			大河ドラマ「いだて ん」トークツアーin 東京都文京区	文京区とゆかりのある金 栗四三を区民に広く周 知し、東京2020大会の 気運醸成を図ること。	金栗四三について、文 京区での日々やスポ ーツを通じた教育に尽力 した功績、オリンピックへ の軌跡についてのトー クショーを開催した。	予算	7,548	当初予定数 (定員等)	700人	—	—	大河ドラマ「いだてん」の出演者を迎え、オリンピックにまつわる エピソードやドラマの見どころを紹介するトークショーを実施し た。 【日時】平成31年3月23日(土)15時30分から16時30分まで 【会場】文京学院大学 本郷キャンパス仁愛ホール	文京区と金栗四三とのゆかりについて、あら ためて認識し、理解を深めるとともに、東京 2020大会に向けた気運醸成を図ることができ た。	金栗四三の功績を幅広く知ってもらうため、文 京区とのゆかりを絡めた多様な事業展開をす る必要がある。	終了	スポーツ振 興課	オリンピッ ク・パラリ ンピック担当	
						決算	6,915	実績数	700人	100.0%								
								申込数	3,833人	547.6%								

【基本的な方向性(2)】 スポーツ観戦の場と機会の拡充

13	29	ス03-02	スポーツ・パブリック ビューイング	東京2020オリンピック・ パラリンピック競技大会 推進事業の一環として、 区民とともに応援する中 で東京2020大会の気運 醸成を図るため。	区民ひろばやシビック ホールなどで、ワールド カップやオリンピック・パ ラリンピックなどのパブ リックビューイングを開 催し、皆で観戦する楽し さを共有する。	予算	1,811	当初予定数 (定員等)	500人	—	—	(1)Bリーグ2017-18ファイナル千葉ジェッツvsアルパルク東京 実施日:5月26日(土) 開催場所:地下2階区民ひろば 参加人数:50人 定員100人 (2)バスケットボール男子日本代表国際強化試合2018 日本vs 韓国 実施日:6月17 日(日)開催場所:地下2階区民ひろば 参加人数:50人 定員100人 (3)2018FIFAワールドカップ ロシアパブリックビューイング 実施日:6月19日(火)開催場所:地下2階区民ひろば 参加人数:250人 定員200人	多くの区民にスポーツを応援する楽しさを伝え ることができた。	競技ごとにより集客数の格差があるため、ファン 層への周知方法を工夫するほか、一般層に 競技の魅力伝えていく必要がある。	現状 維持	スポーツ振 興課	スポーツ振 興係	
						決算	368	実績数	350人	70.0%								
								申込数	350人	70.0%								
14	29	ス03-01	読売巨人軍との協定に 基づく事業の実施	観戦及び体験型のイベ ント等を通じて、「観る」 「する」スポーツの機会 をつくり、その魅力を発 信すること。	読売巨人軍との協定に 基づき、観戦事業のほか 、選手との触れ合いの 場や走り方・投げ方教 室等の各種事業を展開 する。	予算	415	当初予定数 (定員等)	360人	—	—	(1)小学生ボール投げ&走り方教室 実施日:①4月コース(4/1(日)及び4/8(日)の2日間) ②5月コース(5/12(土)及び5/26(土)の2日間) 区分:小学1・2年生親子の部、小学3・4年生親子の部 定員:各コース各部40組(延べ160組) 実績:①4月コース 64組(申込97組)、②5月コース 73組(申 込272組) (2)2018読売巨人軍×文京区スペシャルイベント 実施日:9月30日(日) 定員:200名 実績:169名(申込250名)	読売巨人軍との各種事業を通じて、「観る」 「する」スポーツを推進することができた。	野球を通じてスポーツへの興味を高め、幅広 い層にスポーツに触れる機会をつくる。読売巨 人軍の協力により、事業の拡大を図り、多くの 区民が参加できるようにしている。	拡充 中	新たな協働事業の実施を検討 中	スポーツ振 興課	スポーツ振 興係
						決算	373	実績数	306人	85.0%								
								申込数	619人	171.9%								
15	29	ス03-01	文京LBレディース支援 事業	「文京LBレディース」の 試合観戦等を通じて、地 域で応援する環境を整 えること。	地域の大学や企業との 連携により設立した女子 サッカーチーム「文京LB レディース」の活動を支 援し、区民等が身近な チームの試合観戦を通 じて、地域で応援でき る環境を整える。	予算	0	当初予定数 (定員等)	—	—	—	区報6/25号で、東京都女子サッカーリーグのうち、文京LBレ ディースの試合日程を掲載した。	区報で広く区民に周知することで、「文京LBレ ディース」の試合観戦のきっかけとなり、地域 で応援する動機付けとなった。	広報手段を幅広く活用し、より多くの区民に観 戦の動機付けを行った。	現状 維持	スポーツ振 興課	スポーツ振 興係	
						決算	0	実績数	—	—								
								申込数	—	—								

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係	
【基本的な方向性(3)】 プロスポーツ等団体との連携・協力																
16	30	ス03-01	日本サッカー協会との協定に基づく事業の実施	サッカー教室等を通じて、スポーツを身近に感じる機会の拡充を図る。	スポーツをより身近なものとするため、日本サッカー協会との協定に基づき、サッカー教室等をはじめ、各種事業を展開する。	予算	322	当初予定数 (定員等)	90人	—	実施日:2月16日(土) 場所:小石川運動場 講師:齋藤俊秀氏 対象:区内在住、在学の小学3から5年生 定員:90名 申込数:96名 実績:56名	初心者から経験者まで広く参加者を募集し、各レベルに配慮したサッカー教室を行った。初心者はサッカーや体動かすこと楽しさを味わうことができ、また、経験者の今後のスキルアップに繋がる機会を提供できた。	申込者に対する当日の参加率が低かったため、学校の土曜日授業に配慮する等の工夫が必要である。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	266	実績数	57人	63.3%						
								申込数	96人	106.7%						
17	30	ス03-01	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	スポーツ団体等との各種協働事業を通じて、「する」、「観る」スポーツを推進する。	区内に拠点をもつスポーツ団体等との協働による事業を実施する。	予算	3,045	当初予定数 (定員等)	—	—	区内に拠点を置く様々なスポーツ団体等と各種教室や観戦イベント等を37事業実施した。主な団体は以下のとおり。 ・読売巨人軍 ・トヨタ自動車株式会社 ・アルパルク東京 ・文化シャッター株式会社 ・ヨネックス株式会社 ・日本サッカー協会 ・CLUB LB & BRB ・順天堂大学 ・東京大学 ほか	協働の相手方が多様化したことで、様々な競技で教室やイベント等を実現でき、幅広い区民の興味・関心に応え、「する」、「観る」スポーツを推進できた。	東京2020大会の開幕が迫る中、協働事業を安定的に実施し、区民にスポーツを「する」、「観る」機会を確保するためには、選手層するスポーツ関係団体等との連携が一層重要になる。	拡充中	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	2,845	実績数	37事業	—						
								申込数	—	—						

令和元年度 スポーツ分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標2】 いつでも、どこでも、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動の促進

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
						予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数								申込数	
【基本的な方向性(1)】 スポーツを楽しむ人を増やす																		
1	31		地域スポーツ団体の支援・育成	地域・生涯スポーツの普及・発展のため。	各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	○派遣件数:124単位 ・スポーツ推進委員:72単位 ・スポーツリーダー52単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかに派遣単位数は減少したが、新規団体からの申請が増加した。	指導競技が偏っているため、実績が少ない競技への指導員の派遣増加が必要である。	現状維持		スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	124 単位	—								
								申込数	124 単位	—								
2	31		個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	定期的にスポーツ施設を個人向けに開放することで、スポーツの機会を提供する。	水泳、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	スポーツセンター、総合体育館及び江戸川橋体育館で一般公開を実施した。	平成30年度は、スポーツセンター:延べ7,873人 総合体育館:延べ10,136人 江戸川橋体育館:延べ4,602人が利用しました。	卓球については人気競技のため参加者が多く、混雑することがある。	現状維持		スポーツ振興課	施設等担当
						決算	—	実績数	22,611 人	—								
								申込数	22,611 人	—								
3	31		各種区民スポーツ大会等の開催	地域のスポーツクラブ・チームの活動の成果を発揮する場やクラブ間の交流を深める機会を設けるため。	区民の日頃のスポーツ活動の成果を試す機会のある場として、各種区民スポーツ大会を開催する。	予算	7,463	当初予定数(定員等)	—	—	—	区民大会参加者数:延9,526人 都民大会派遣人数:延402人 スポーツ少年団交流事業(ビーチボール大会・11/25日):233人	平成29年度からミニテニス協会が新たに文京区体育協会に加盟し、団体数、区民大会数が33に増えた。	区民大会の参加人数がやや減少傾向にある。	現状維持		スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	7,463	実績数	10,161 人	—								
								申込数	10,161 人	—								
4	31		文京区表彰要綱に基づく顕彰事業	スポーツの分野で、全国規模の大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰する。	スポーツの分野で、全国規模の大会等において、優秀な成績や優れた功績があった区内の選手・団体に対し、表彰する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	・アルバルク東京優勝報告 Bリーグ2017-18シーズンにおいて優勝、平成30年5月31日に区長表敬訪問 ・サッカー女子U-20代表(ヤングなでしこ) FIFA U-20女子ワールドカップ2018フランスで優勝、平成30年9月4日に区長表敬訪問 ・文京学院大学女子中学校高等学校 平成30年度全国中学校体育大会 第48回全日本中学校バレーボール選手権大会において優勝、平成30年9月13日に区長表敬訪問の場にて表彰 ・朝比奈沙羅選手 2018年バクシー世界柔道選手権大会において、78キログラム超級及び男女混合団体戦で優勝、平成30年10月10日、区長表敬訪問	区内に拠点を置くスポーツ団体や学校、個人からの申出により、区長表敬訪問を実施する。団体や競技者のモチベーションアップの一環となっている。	区立小・中学校やスポーツ関連団体への周知を行い、区ゆかりのアスリートとして応援できるような継続性をもちたい。	現状維持		スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	4 人	—								
								申込数	4 人	—								
5			オリンピック・パラリンピック気運醸成補助金	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成。	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた事業等の運営に要する経費を補助することにより、もって東京2020大会の気運を醸成するとともに、区内の生涯学習、スポーツ、文化芸術、観光、国際交流等の振興及びレガシーの創出に寄与することを目的としています。	予算	4,000	当初予定数(定員等)	20 件	—	—	交付申請4件 交付決定事業3件(前年差-1件) 雨天のため事業が1件取り下げられた。	前年度より、新規団体の申請が2件増加した。	平成30年度はホームページでの周知に主に取り組んでいたため、今年度はインターネットをあまり利用しない層に向けて区報、チラシ等を活用していく。	現状維持		スポーツ振興課	オリンピック・パラリンピック担当
						決算	600	実績数	3 件	15.0%								
								申込数	4 件	20.0%								

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係			
【基本的な方向性(2)】 多様なニーズに対応するプログラムの提供																	
6	32		アウトドアスポーツ事業	ハイキング・ウォーキングを通じ、親子や参加者同士の交流を深めるとともに、だれでも気軽に楽しめるスポーツ活動を推進するため。	東京近郊での軽登山やノルディックウォーキングなどの自然のなかで楽しめるスポーツ事業を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	170人	—	・ファミリーハイキング教室 日程:6月2日(日) 場所:養老渓谷 定員:70人 参加人数:63人 応募数:158人 ・ぶんぎょうウォーキング教室 日程:11月3日(祝・土) 場所:小石川運動場⇒杏岐坂⇒真砂坂上⇒本郷三丁目⇒湯島聖堂⇒湯島天神⇒総合体育館⇒東京大学⇒根津小学校 定員:100人 参加人数:39人	道具や場所を選ばず手軽にできるため、運動をより身近で手軽なものにとらえるきっかけづくりとなった。	より魅力的なコース選定を行い、安定した参加者数を確保することが必要である。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係	
						決算	—	実績数	102人	60.0%							
								申込数	197人	115.9%							
7	32		ジュニア・アスリート育成事業	ジュニア世代への継続的な陸上競技の講習を通じて、将来のスポーツ活動への土台作りをする。	区内大学及びプロスポーツ団体等との協働により、ジュニア選手を発掘、育成、強化し、スポーツ活動を通じて、心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図る。	予算	582	当初予定数(定員等)	40人	—	小学4年生を対象にした陸上短距離走と幅跳びを中心とした講習を4回行った。 また、誰でも参加できる公開講座を2回実施した。 ①平成31年3月2日(土)「子供のころにやっておきたいスポーツトレーニング」 ②平成31年3月9日(土)「最高のパフォーマンスを発揮するためのスポーツ心理学」 参加人数延21名	平成30年度は15名の受講生が全4回の講習を修了し、スポーツ全般の基礎となる走る・跳ぶなどの動作を専門的な指導の下で学ぶことができた。	会場・講師の都合や、複数回の出席が必要なことなどから応募が少なかった。	縮小	令和2年度は東京2020大会の影響により講師のスケジュール確保が難しい。	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	283	実績数	15人	37.5%							
								申込数	17人	42.5%							
8	32		シニア向けスポーツ教室	高齢者にスポーツの機会を提供する。	水泳や体操などの種目や運動など、シニア世代がスポーツを楽しむことのできる教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	60歳以上の方を対象として、高齢者水泳+健康体操教室、シニア健康体操教室及び高齢者水中ウォーキング教室を実施した。	・高齢者水泳+健康体操教室:延べ318名 ・シニア健康体操教室:延べ744名 ・高齢者水中ウォーキング教室:延べ1,294名	高齢者水中ウォーキング教室については定員を大きく超える応募がある。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	—	実績数	2,356人	—							
								申込数	2,356人	—							
9	32		着衣泳講習会	普段経験することのない着衣泳の機会を提供する。	海水浴や川遊びなど夏のレジャーシーズンを前に、水の事故に遭遇した際の自己対処法を学ぶため、着衣泳教室を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	30人	—	平成30年7月1日に、総合体育館プールにて実施しました。	平成30年度は37名が参加しました。	プール水抜き前の実施のため、限られた日程での開催となる。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	—	実績数	37人	123.3%							
								申込数	37人	123.3%							
【基本的な方向性(3)】 スポーツをともに楽しむ意識の醸成																	
10	33	ス02-01	スポーツ指導者地域派遣	区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため。	区内スポーツ団体やPTA等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援する。	予算	596	当初予定数(定員等)	—	—	○派遣件数:124単位 ・スポーツ推進委員:72単位 ・スポーツリーダー:52単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかに派遣単位数は減少したが、新規団体からの申請が増加した。	指導競技が偏っているため、実績が少ない競技への指導員の派遣増加が必要である。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係	
						決算	420	実績数	124単位	—							
								申込数	124単位	—							
【基本的な方向性(4)】 障害者スポーツの普及振興																	
11	34		スポ・レクひろば	知的障害のある方の、スポーツ・レクリエーション活動を通じた仲間づくり、スポーツへのきっかけづくりをすること。	知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供する。	予算	693	当初予定数(定員等)	11回	—	(1)スポ・レクひろば 開催数:年10回 対象:高校生以上で区内に在住・在勤・在学する愛の手帳を取得した者 場所:文京総合体育館、区民センターほか 内容:大玉ころがしや風船バレーなどの軽スポーツ、ハイキング、ボウリングなど (2)4区合同レクリエーション大会 実施日: 対象:(1)に同じ 場所:北野川体育館(北区) 内容:第2ブロックの4区が合同で作り上げる運動会	スポ・レクひろばに繰り返し参加する方も多く、レクリエーション・スポーツをきっかけとした仲間づくりや社会参加の促進に繋がった。	継続して事業を実施し、知的障害者が積極的に自ら社会参加できる仕組みを整えること。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係	
						決算	665	実績数	11回	100.0%							
								申込数	—	—							
12	34		障害者のスポーツ施設利用促進事業	障害者が個人でもスポーツ施設を利用することができるよう、定期的に利用する機会を設ける。	障害のある方に地域のスポーツ施設を気軽に利用していただけるよう、東京都障害者総合スポーツセンターの協力のもと、個人での利用をサポートする事業を行う。	予算	162	当初予定数(定員等)	—	—	平成30年度は軽体操・トレーニング9回、水泳6回及び卓球3回を実施した。	平成30年度は延べ90名の参加があった。	なかなか個人での施設利用につながらず、東京都障害者スポーツセンターを利用することが多い。	現状維持	令和元年度からは指定管理者の指定事業として実施している。	スポーツ振興課	施設等担当
						決算	162	実績数	90人	—							
								申込数	—	—							

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係	
						予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数								申込数
14	34		障害者スポーツ体験教室	障害者スポーツを「する」、「観る」機会の充実を図り、障害者スポーツへの理解を深めること。	障害の有無に関わらず気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催する。	予算	1,394	当初予定数 (定員等)	120人	—	—	(1)車いすバスケットボール体験 実施日:12月16日(日) 場所:文京総合体育館 講師:日本車いすバスケットボール連盟 定員:50組 参加者:17組(申込30組) (2)ボッチャ競技体験 実施日:2月23日(土) 場所:文京総合体育館 講師:スポーツ推進委員 定員:30人 参加者:13名(申込14名) (3)障害者スポーツ及びユニバーサルスポーツ体験 実施日:12月2日(日) 場所:小石川運動場 内容:ロービジョンフットサル教室及びウォーキングサッカー体験 備考:文京区ユニバーサルスポーツDAYと併催 (4)ブラインドサッカーワールドグランプリ2019観戦 実施日:3月21日(祝・木) 場所:天王洲公園(品川区) 定員:40人 参加者:26名	体験会では、障害の有無を超えた参加者の交流が図られ、また、観戦では、トップ選手のプレーを間近に感じることで、障害者スポーツへの関心を高め理解促進に寄与することができた。	事業を継続し、障害の有無を問わずスポーツに親しむ機会を提供すること。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	965	実績数	56人	46.7%							
								申込数	70人	58.3%							
15	34		障害者スポーツ指導員資格取得の支援	障害者スポーツを「支える」人材を育成し、障害者スポーツの普及振興を図ること。	スポーツ指導者が障害者スポーツの指導員資格を取得するための費用の助成や活動の場についてサポートを行います。	予算	38	当初予定数 (定員等)	5人	—	—	スポーツ推進委員1名が初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を受講し、資格を取得した。	障害者スポーツ指導員の有資格者が、障害者スポーツ体験の企画及び運営に携わり、普及振興に寄与している。	資格の取得希望者が少ないこと。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	8	実績数	1人	20.0%							
								申込数	1人	20.0%							